

# 令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立古志原小学校

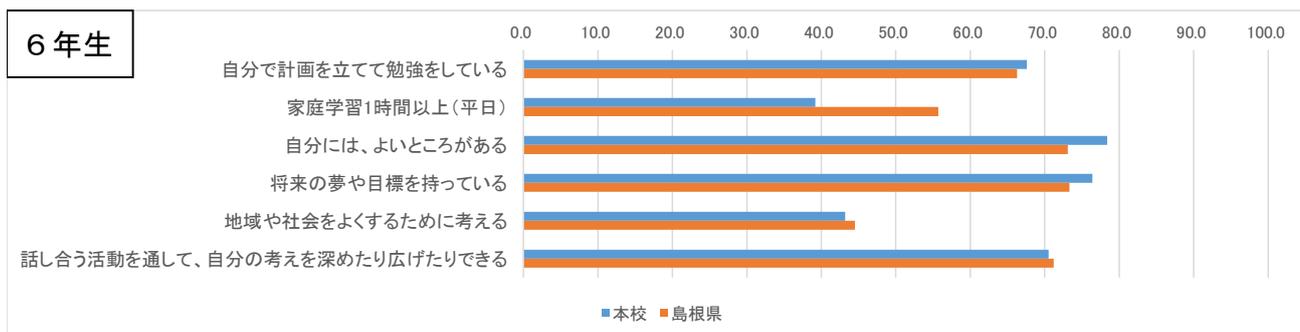
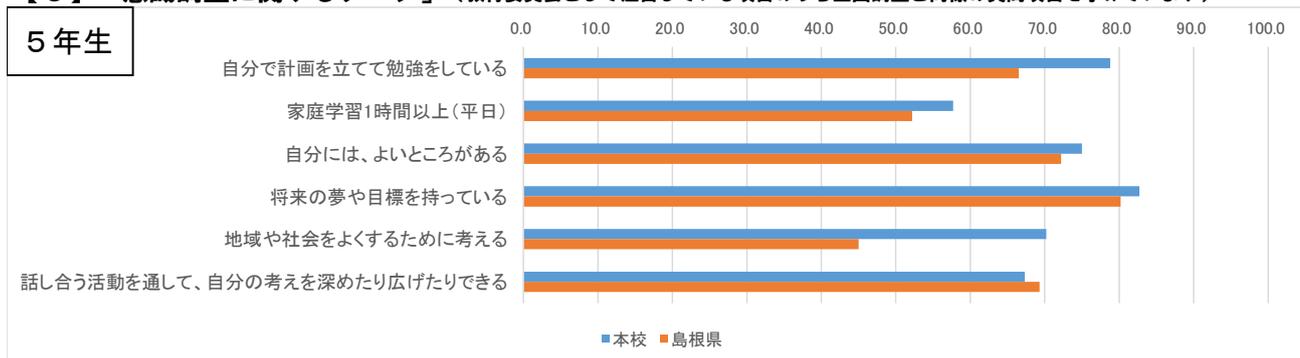
## 【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	<p>○漢字を正確に書くことがよくできており、家庭学習や月1回行っている漢字の書き取り会の成果がみられる。</p> <p>○物語の内容を読み取ることがよくできており、授業で理解を深めていることに加えて、朝読書の時間を確保するなどして本に親しむ時間をとっている成果が見られる。</p> <p>●話し合いの内容を聞き取ることに苦手ががあり、話し手や司会などの役割を経験しながら、発言するときの工夫や目的意識のある話し方について慣れていく必要がある。</p>	<p>○漢字を読むことや、言葉の使い方については比較的できており、音読など授業での取組や家庭学習の成果が見られる。</p> <p>●目的や条件に応じて自分の考えをとりいれながら文章を書くことに苦手ががあり、伝えたいことをメモに取り、段落を意識して書くことに慣れていく必要がある。</p>
算数	<p>○分数や小数の計算や比例の問題がよくできており、普段の授業での取組や月1回行っている計算会の成果がみられる。</p> <p>○三角形や四角形の性質や作図についてよくできており、図に表して考えるなど図を書きなれていることが成果として表れている。</p> <p>●偶数や奇数、倍数や約数に関することに苦手ががあり、用語を再確認したり、日常生活の中で偶数や奇数、倍数や約数を使って考える機会を増やす必要がある。</p>	<p>○図形の面積や体積を求めることが比較的できており、授業で繰り返し練習した成果が見られる。</p> <p>●XとYの関係を表したり、XやYに数を入れて計算することに苦手ががあり、ことばの式などから考えることに慣れていく必要がある。</p> <p>●比と比の値に関する計算に苦手ががあり、比に関する用語や比の性質について再確認する必要がある。</p>

## 【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	<p>○「地域や社会をよくするために考えている」という質問に対する肯定的な回答が多かった。総合的な学習の時間において、地域や社会を念頭に置いた活動を続けてきた成果だと思われる。</p> <p>●「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている。」という質問に対する肯定的な回答が県平均をやや下回っている。授業中に納得解が得られるような話し合いのスキルを身に付けていくことが課題である。</p>	<p>○「自分には、よいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」という肯定的な回答が多かった。一人一人を大切に、主体的な取組を後押ししてきた成果だと思われる。</p> <p>●平日に「家庭学習を1時間以上している」と答えた割合が約40%にとどまっている。目標に向かって、自律的に努力ができるように成功体験を積むことができるような支援をすることが課題である。</p>

## 【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 5年生 109 名

6年生 111 名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)